



康心会汐見台病院  
産科だより

平成 31 年

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

私は、当科の看護課長をしています。弘末と申します。

平成最後の新年、皆様多くの思いを持ち迎え、又、これから迎える日に向けて準備をされていることと思います。年末、私たちが、即位の月の前後の分娩予約をみながら、お母さま方も赤ちゃんとどの日に産まれるのかしらと楽しみにしているだろうと話しました。ネットに昨年10月の時点で平成生まれが3244万1千人になり、総人口に占める割合が25%を突破したそうです。高齢社会といわれる中、4人に1人が平成生まれの若い社会ともいえ、日本の未来を平成世代や新しい年号世代の託する時代になってきたという記事でした。当科には、23名の助産師がいます、その内2名が平成生まれですが、これからどんどん増えてくるのでしょうか。ベテランも切磋琢磨しながら助産師の技を磨き、伝授しながら若者と共に新しい未来に向けて「新しい命」を大切にはぐくんできていたらと思



っています。昨年は、当科ではお産を取っていないという噂があると聞きました。いえいえ、移譲で分娩件数を減らしたものの、ずっと取っているんですよ。むしろ今は、沢山の皆様に利用して頂けるようスタッフ一同様々な工夫をしているところです。以前からある「母乳外来」「助産師の個別の保健指導」「家族の立ち合い分娩」「きょうだい面会」「助産院との連携による分娩」に加え「マタニティヨーガ」「ベビーマッサージ」「祝い膳の開始」「産後延長入院の低料金化」など、今年も皆様のお声もお聞きしながら地域の皆様に愛される産科を目指したいと思っています。

当科の特徴は、自然分娩を主体として産科医師・小児科医師が24時間常勤し、産科のスタッフが全員助産師であることです。昨年何人かこの「産科だより」に登場していますが、地域の保健師活動をしたり、助産院で働く助産師や学生を指導している助産師や外来担当の助産師など、それぞれの助産師にもこの「産科だより」に登場する予定です。楽しんでみに行ってください。その中から皆様の分娩施設をみていただきたいとも思っています。もちろん是非見学にもおいで頂き、お気軽にご相談ください。



最後になりましたが、「産科だより」に登場して頂いている赤ちゃんやご家族にいつも感謝を致しています。また、皆さんとの共有の場であればと思っています。私たちが日々お母さまや赤ちゃんに接して沢山の笑顔を見ていただいていることです。今年も皆様にとってもより良い実りの多い年であるよう心より願っています。

◆今月の赤ちゃん  
2019 年初のベビーちゃんを紹介いたします。日付が変わってすぐ、0時15分に2955gの男の子。写真は生後3日目に撮りました。ちよつと眠そうなところをママと起こしながらようやく撮れた表情がこちら。男前の凛々しい表情をいただき、たくさん撮った写真の中で「これにしよう！」とママと2人で即決しました。

◆お知らせ 面会制限について  
インフルエンザの流行に伴い、当院では15歳以下のお子様の面会を中止しています。産科病棟においては、産まれた赤ちゃんにとつてのお父さん、ご夫婦の両親までとさせていただきます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。また、面会前の体温測定・手洗い・マスク着用を徹底していますのでご協力よろしくお願致します。



©fumira